

キャラクター名  
雲林院 一仁 (ウンリンイン カズヒト)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ソラリス	ワークス	UGN支部長B	カヴァー	一流企業の御曹司
オプション	オルクス	年齢	20	性別	男
覚醒	命令	衝動	殺戮	初期侵食率	33 %
出自	権力者の血統	経験	出世	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	0	1			1	行動値	6
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	6
精神	4	0	0			4	戦闘移動	11
社会	4	0	0			4	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	4		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
コネ: UGN幹部	
コネ: 要人への貸し	
情報収集チーム	
使用人	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タ	消費
Dロイス:伝承者<RC>	P 有為	N 屈辱		
父親:雲林院 総一郎 (~ソウジロウ)	P 尊敬	N 偏愛		
部下: UGN支部員	P 有為	N 猜疑心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10    残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ファンアウト	1	4	セットアップ	至近	範囲(選択)	自動	-	
効果: 戦闘移動を行う。Lv回/シナリオ								
戦術	4	6	セットアップ	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果: ラウンド中のメジャー+LvD。自分以外								
コンセ:ソラリス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: CL値-Lv								
さらなる力	1	5	メジャー	至近	単体	<RC>20	80%	
効果: 行動済み→未行動。1回/ラウンド								
妖精の手	1	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 出目を10。Lv回/シナリオ								
領域の盾	1	4	オート	至近	単体	自動	-	
効果: 他人にカバーリングさせる。Lv回/シーン								
声無き声	1	-	メジャー	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果: 誰かに思念を伝える。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【概要】  
「はあ？この僕がやれって言ったんだからやれよ。いいな？」(CV: 神谷浩史さん)  
世界的に有名な病院(UGN支部)の院長(支部長)。創設者である父(前支部長)からそのまま受け継ぐ。父の病院、父の椅子、父のコネを我が物顔で使う俺様(僕様?)系の男。自分がルール。短気。父のことはとても尊敬しており、本心では彼のように立派な大人になりたいと思っているが、表には出さない。父は秀でた能力の持ち主なのに、自身が不出来だと自覚があるため、他社への劣等感や僻みが強い。

【出自】  
父親は世界的にも有名な病院の創設者。自分はその御曹司。子どもの頃からちやほやされて当然だった。彼としては、父の期待に応えることは本望であったため、それ自身は嫌ではなく、むしろ自慢すらしているレベル。しかし、彼のレネゲイド能力はあまり表立って見えるものでもなく、偉大な父の血を継ぐにもかかわらずいこなせなかった。慣れないから出来ない——という泣き言を父に伝えると「それでも我が息子か」と一蹴。それ以降、彼は院長としてその高すぎる椅子に座ることとなった。

【レネゲイド関係】  
父親自身もUGN支部長であったため、息子に支部長の跡を継いでほしいと考えていたため、半ば強制的に覚醒させる。彼としては、父の期待に応えることは本望であったため、それ自身は嫌ではなく、むしろ自慢すらしているレベル。しかし、彼のレネゲイド能力はあまり表立って見えるものでもなく、偉大な父の血を継ぐにもかかわらずいこなせなかった。そんな自分自身が許せず自暴自棄になるなどするが、基本スペックは中々上がらない。大学を卒業するまでのあと2年で、何とかものにならなければ——と思っていた矢先に父が病に倒れてしまい、継がざるを得なくなる。→父から病院と、支部とを受け継いだ際に、彼自身の功績であるレネゲイドコントロール能力を、彼の血を飲むことで継承する。(=オプショナルシンドロームと、Dロイスの取得)  
これにより、躍起になり、今は彼なりに努力をしている。